



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎(076)221-5398

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題

スローガン

アジア地域会長主題

スローガン

西日本区理事主題

スローガン

中部部長主題

金沢犀川クラブ 会長主題

会長：澤瀬 諭，副会長：川村孝治，書記：北 肇夫，会計：三谷信三，直前会長：北 肇夫

「世を照らす光となろう」 “Be the light of the world”

「恵みを愛もて分かち合おう」 “Share your blessings in love”

「歳月は Y's をワイズ（賢者）にする」 “Years bring wisdom”

「行動が活力を呼び覚ます」 “Action vitalize life with strength”

「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」

「ワイズメンの満足度向上を 真摯に取り組もう」

「前へ！ 声を掛け合い！」 “Go forward! Call together!”

今月の聖句：『はつきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである』
マタイによる福音書 25.40 (前略)

2013年3月強調月間

EF・JWF

お祝いや記念日には幸せのお裾分け、感謝の気持ちとともに献金しませんか。エンダメント基金（EF）は国際協会へ、西日本区ワイズ基金（JWF）は西日本区ヘワイズダム発展のためにご協力お願いします。

☆☆☆3月第一例会案内☆☆☆

日 時：3月 14 日(木) 19:00～21:00
場 所：金沢白鳥路ホル（金沢市丸の内 6-3）
会 費：3,000 円(夕食代を含む)
準 備：竹中君

＊＊＊プログラム＊＊＊

司 会 : 北君
開会・点鐘 : 澤瀬会長
ワイズソング : 一同
今月の聖句 : 司会者
今月のハッピーハースティ
北君(26日) : 澤瀬会長
ゲスト紹介 : 司会者
食前の感謝 : 竹中君

—会食—

卓話 : 山岸勝信氏 ((株)WAY 企画事務所代表)
「アナログからデジタルへの谷間」

事業委員報告 : 各委員
ニコニコタイム : 三谷君
閉会・点鐘 : 澤瀬会長

*例会に使用済み切手をご持参ください。

☆☆☆2月例会報告☆☆☆

[新春特別例会] 2月 10 日(日)～11 日(月・祝)、
石屋(金沢市深谷温泉)、参加者：川村君・北君・
澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君、計 6 名。

[第二例会] 2月 28 日(木)19:00～21:00、金沢 YMCA
集会室、参加者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・
平口君・三谷君。

西日本区次期会長・主査研修会 3月 9 日(土)～10 日(日)、チサンホテル大阪、次期の澤瀬会長・平口中部部長・北中部書記・川村中部会計が参加予定。第2回
中部評議会 3月 20 日(水・祝)12:30～14:00、名古屋 YMCA 会議室、澤瀬会長・平口次期部長・北次期
中部書記が参加予定、評議会終了後に STEP 報告会・YY フォーラム開催。4月第一例会 4月 29 日(月・
祝)、北陸学院大学三小牛キャンパス、金沢 YMCA 主催
“たけのこキャンプ”。

4月の当番 司会：竹中君、準備：平口君

今月の聖句について “王が側近に語った喩え話”
を例にあげて、困窮している人たちにしたことは
イエスにしてくれたことと同じだと、イエスは説く。
マザー・テレサの信条でもある。(平口)

当クラブ	2月出席者	2月出席率	B F ポイント	ニコニコタイム
正会員 6名 広義会員 0名	メン 6名 ネット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名	100% メキヤップ 0名	前月繰越切手 2,201g 2月分切手 50g 今年度累計 切手 2,251g 現金 0円	1月累計 156,737 円 2月分 0 円
合計 6名	6名	100%		累計 156,737 円

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

◆ 2月新春特別例会に参加して ◆

北 肇夫

恒例の新春特別例会は、2月10日(日)～11日(祝・月)、藩政期から続く深谷温泉“石屋”にて一泊で行われた。当日は、周囲の木々が雪で薄化粧し、古くは「旅情を誘う山間の秘湯」と知られる「深谷の里」らしい静寂を感じさせた。実は、2006年4月に北陸自動車道金沢森本ICの新設と金沢東部環状道路(山側環状)が全線開通してからは、交通の便がよくなり、ICから10分でアクセスできるようになった。

さて、今回の卓話は、当クラブの平口ワイズが「名古屋東海クラブ1月第一例会に参加して」と題し、パワーポイントのスライドを用いながら例会の様子を紹介するとともに、「入会の動機」、「世界連邦運動とは?」、「世界連邦運動とクリスチャン・ワイズメンズクラブ」という構成で熱意を込めて語られた。

例年この新春特別例会では「次期クラブ役員の選出」が大きな議題であったが、旧年暮れに続投が内定しており、今回、正式決定となった。

会食の会場は、ライトアップされた野外能舞台が望めるところで、歴史的風情が漂うなかで親睦を重ねることができた。今年は、6月の西日本区大会(名古屋市)の協力クラブとして、また8月の中西部会(金沢市)のホストクラブとして行事が続くため、行事の成功、会員の結束と健康を誓った。



(2月ハッピーバースデイ:川村メネット・三谷ワイズ・三谷メネット)



(卓話:平口ワイズ)



(宴会終了後に能舞台で記念撮影)

◆ 金沢犀川クラブのファンデ事業 ◆

ファンデ事業委員長・中部ファンデ事業主査

川村 孝治

ワイズメンズクラブにはいくつかファンデ事業がありますが、このうち犀川クラブではBF(Brotherhood Fund)、CS (Community Service、地域奉仕)、FF (Family Fast、家庭での断食)、Yサ・ユース(YMCAサービス・ユース)、ASF (Alexander Scholarship Fund、アレキサンダー奨学資金)に献金しています。西日本区のファンデ事業委員会が担当しているファンデはBF、EF (Endowment Fund、信託基金)、JWF (Japan West Y's Men's Fund)の三つです。当クラブでは、FF強調月間にご馳走を食べる代わり、会費に添えてファンデ負担金を一括納入しています。

BFは、使用済み切手や現金を基金としてワイズメンズクラブの国際役員やBF代表が国外のクラブを訪問したり大会に出席したりするための費用に充てられ、国際性豊かなリーダーシップの育成に貢献しています。西日本区大会のBF表彰基準には、メンバー一人当たり15ドル以上を達成した全クラブ(100%達成賞)とメンバー一人当たり金額の上位10クラブ(達成上位10クラブ)との二つがあります。犀川クラブは、今年も100%達成賞は確実です。

◆ “今月の聖句”と“今月の讃美歌”(3) ◆

平口 哲夫

プリテン2012年10月号と同12月号に掲載した拙文の続きを記す。

プリテン用の聖句を選ぶ作業は、模範的なクリスチヤンとは言いたい私にとって良い機会となっている。今回選んだ聖句は、『マザー・テレサ 愛と祈りのことば』(ホセ・ルイス・ゴンザレス・パラド編、渡辺和子訳、PHP文庫)に引用されている聖句から選んだ。

この本を読むことになった切っ掛けは、2013年1月13～14日開催の西日本区次期役員研修会で、「西日本区役員がクリスチヤンの場合、礼拝の司会と奨励を輪番で担当することになっているのでよろしく」とCE(Christian Emphasis)委員長から依頼したことによる。私は中学2年生のときから教会の日曜学校に通い始めたが、献金の祈りをするのが苦手で、その当番さえなければ教会にも行きやすいのにと、子ども心に思ったものである。その気持ちは今でも変わりがない。「長所を活かして生き生きと!」という部長主題を掲げることにしたにも拘らず、苦手なことを引き受ける羽目になったわけである。

当番は自由祈祷と既往の祈りの両方を準備しなければいけないそうで、従来、既往のものについてはマザー・テレサの祈りが選ばれることが多かったとのこと。そこでインターネットで関連文献を検索し、とりあえずAmazonを介して3冊の本を入手した。そのうちの1冊が『マザー・テレサ 愛と祈りのことば』なのである。

《 金沢 YMCA のホームページ》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>